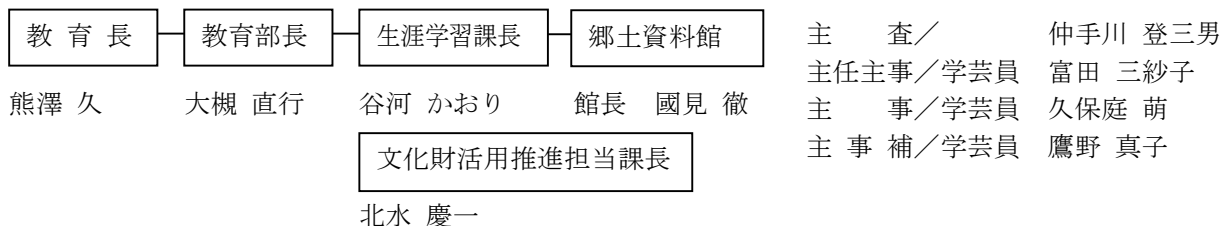


事業報告

大磯町郷土資料館運営

■ 組織および職員



会計年度任用職員／学芸員 飯野 友紀、中原 園子、伊藤 匠 (-R5/3/31)、村田 聡美
 会計年度任用職員／司 書 今井 沙穂里
 会計年度任用職員／自然観察指導員 高山 優美
 会計年度任用職員 川下 多恵子、佐藤 瑞香、西田 裕子、花輪 弘枝、若栗 尊子、鈴木 道子、山本 陽子 (-R5/3/31)、石井道朗

■ 協議会

<委員の構成>

- ・委員 長／近藤 英夫 (学識経験者)
- ・副委員長／西川 武臣 (学識経験者)
- ・委 員／柴田 紳一 (学識経験者)、古川 元也 (学識経験者)、佐伯 元治 (学校教育関係者)、中島 美江 (社会教育関係者)、大倉 祥子 (観光関係者)、曾根田 玲子 (観光関係者)、上野 広子 (社会教育関係者)

<協議会の開催>

- ・第 1 回／令和 4 年 8 月 31 日 議題 1 令和 3 年度事業報告について
議題 2 令和 4 年度事業について
- ・第 2 回／令和 4 年 12 月 7 日 議題 1 令和 4 年度事業進捗状況について
- ・第 3 回／令和 5 年 3 月 8 日 議題 1 令和 4 年度事業報告について
議題 2 令和 5 年度事業について
議題 3 郷土資料館運営基本方針について

■ 予算

<当初予算の推移>

年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
金額	84,551 千円	98,941 千円	92,462 千円	88,987 千円	133,457 千円	119,677 千円

<令和 4 年度歳入決算額 (一部のみ) >

- ・旧吉田茂邸観覧料 10,668,370 円
- ・旧吉田茂邸刊行物売上代 110,690 円
- ・「わたしたちの大磯の歴史」売上代 132,000 円
- ・吉田茂関連製品売上代 263,800 円
- ・郷土資料館刊行物売上代 277,570 円

<令和 4 年度歳出決算額>

事業	郷土資料館 運営事務事業	郷土資料館 維持管理事業	郷土資料館 学芸活動事業	教育普及・ 企画展事業	郷土資料館 施設整備事業
金額	1,627,692 円	13,456,239 円	6,607,885 円	18,566,239 円	25,872,000 円
事業	旧吉田茂邸 運営事務事業	旧吉田茂邸 維持管理事業	旧吉田茂邸 学芸活動事業	旧吉田茂邸 利活用推進事業	計
金額	10,983,838 円	8,393,534 円	360,476 円	283,923 円	86,151,826 円

□職員給与 (5 人分) 34,085,702 円 ■歳出合計 120,237,528 円

■ 観覧者数

<郷土資料館観覧者数の推移> 単位：人、日

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	累計(昭和63年～)
入館者数	28,900	22,201	11,053	24,091	24,719	1,042,032
1日平均/開館日数	97/299	82/271	64/173	94/257	83/297	109/9,599

※令和元年度は令和元年10月12日、13日を台風19号のため、令和2年3月7日から新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度に続き令和2年6月15日まで、令和3年1月9日から3月21日まで臨時休館

※令和3年度は令和3年7月3日を大雨のため、7月6日から11日までは館内燻蒸のため、8月24日から9月30日までは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館

<郷土資料館の月別観覧者数> 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
入館者数	1,817	3,118	1,806	1,162	1,217	1,278	
1日平均	73	120	72	45	49	51	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	2,489	4,095	1,937	1,720	2,317	1,763	24,719
1日平均	100	164	84	75	101	68	83

<旧吉田茂邸(郷土資料館別館)の月別観覧者数> 単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
観覧者数	大人(個人)	1,402	2,651	1,319	917	926	1,149	
	大人(団体)	63	127	194	30	47	152	
	中学生・高校生(個人)	17	40	13	27	32	14	
	中学生・高校生(団体)	0	0	0	0	0	0	
	小学生以下	39	70	27	30	72	34	
	障がい者/介護者	78	153	62	40	26	55	
	減免対象者	107	72	171	11	55	45	
計		1,706	3,113	1,786	1,055	1,158	1,449	
1日平均		68	120	71	41	46	58	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
観覧者数	大人(個人)	1,584	3,301	1,274	1,135	1,963	1,571	19,192
	大人(団体)	220	648	111	26	44	100	1,762
	中学生・高校生(個人)	80	19	11	20	15	45	333
	中学生・高校生(団体)	0	0	0	0	0	0	0
	小学生以下	32	66	37	36	39	44	526
	障がい者/介護者	73	204	66	58	88	63	966
	減免対象者	113	21	34	1	40	32	702
計		2,102	4,259	1,533	1,276	2,189	1,855	23,481
1日平均		84	170	67	55	95	71	79

大磯町郷土資料館施設管理

■ 維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託／（株）湘南県央サービス
- ・警備委託／（株）全日警 横浜支社
- ・昇降機保守委託／ダイコー（株）横浜営業所
- ・敷地管理委託／（財）神奈川県公園協会
- ・中央監視装置保守点検委託／日本電技（株）横浜支店
- ・空調設備第二期改修工事管理委託／（資）アーバンクルー
- ・空調機器給水設備保守委託／（株）郵生
- ・自家用電気工作物保守委託／荻野電気管理事務所
- ・消防用設備保守委託／（株）足柄防災
- ・自動ドア保守委託／（株）神奈川ナブコ 厚木支店
- ・燻蒸業務委託／関東港業（株）横浜営業所

<修繕>

- ・トイレ詰り修繕／（有）岩田土木管工
- ・給湯室水栓取替工事／（有）岩田土木管工
- ・誘導灯交換工事／（株）足柄防災
- ・室外機置場屋根修繕／（株）大創建設
- ・園内灯修繕／（株）興電社

<工事>

- ・空調設備第二期改修工事／神奈川山菱設備（株）
- ・トイレ自動水洗化等改修工事／（有）丸徳住設

■ 施設使用

<施設使用月別件数> 単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研修室	5	8	5	7	8	4	5	6	0	1	6	3	58

旧吉田茂邸（郷土資料館別館）施設管理

■ 維持管理

<委託業務>

- ・清掃委託／ 高橋産業（株）
- ・昇降機保守委託／（株）日立ビルシステム 横浜支社
- ・消防用設備保守委託／モリタ宮田工業（株）
- ・木製建具調整・木部全体点検委託／松井建設（株）
- ・警備委託／（株）全日警 横浜支社
- ・空調設備保守点検委託／（株）郵生
- ・敷地管理委託／（財）神奈川県公園協会

<修繕>

- ・トイレ自動水洗化改修／（有）丸徳住設
- ・天井他しみ抜き工事／松井建設（株）
- ・昇降機かご内液晶パネル交換／（株）日立ビルシステム

■ 施設使用

<施設使用月別件数> 単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研修室	4	0	0	4	1	0	0	1	2	0	0	0	12
全館	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3

大磯町郷土資料館学芸活動

■ 企画展

春季企画展「めぐってみよう！大磯宿」

期 間／令和4年4月23日（土）～6月12日（日）

開場日数／43日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約60点

料 金／無料

観覧者数／4,718人



趣 旨／江戸時代の東海道大磯宿の名所を、道中記や街道絵図などを調査することによって考察し、その見どころを紹介する。併せて、大磯宿の様子を伝える郷土資料館所蔵の大磯宿小島本陣資料を紹介し、宿帳に書かれた本陣に休泊した大名などの動向から、大磯宿の名所が当時の幅広い身分層に親しまれていたことを明らかにする。展示を見学した観覧者が、江戸時代の大磯宿を身近に感じる展示とする。

内 容／郷土資料館が所蔵する大磯宿小島本陣資料や、大磯宿を題材とした浮世絵を紹介し、「名所」という切り口から大磯宿を考察した。

(1) 東海道大磯宿を見る

壁面1及び展示ケースBにて「東海道分間延絵図」（東京国立博物館所蔵）の複製などの江戸時代当時の絵図を写真パネルで展示し、大磯宿の名所を解説した。

(2) 大磯宿小島本陣資料

展示ケースAにて大磯宿小島本陣資料（当館蔵）を展示した。本陣を務めた小島家の概要や、小島家と大名家とのつながり、休泊帳に記された通行の様子などを解説した。

(3) 浮世絵に見る大磯宿

壁面2に郷土資料館が所蔵する大磯宿を題材とした浮世絵を展示し、当時の名所がどのように捉えられていたのか、視覚的に伝えた。

(4) 大磯宿の本陣

昇降台に、常設展示リニューアル前に展示していた小島本陣の模型や、大磯宿小島本陣資料に含まれる小島本陣の平面図などを展示し、大磯宿の本陣の形式を紹介した。また、近年、資料の所在が判明した大磯宿石井本陣の間取図（松江市所蔵）も写真パネルで紹介し、小島本陣以外の大磯宿の本陣についても考察した。

〔関連行事〕

大磯宿の町歩き

日 時／令和4年5月8日（日）10時00分～11時30分

場 所／大磯町内

参加人数／7人

内 容／大磯宿の江戸見附跡から上方見附跡までを歩き、途中にある名所（延台寺・本陣跡・地福寺・鳴立沢など）を担当学芸員が紹介した。

（担 当）富田

秋季企画展「島崎藤村と大磯を愛した文人たち」

期 間／令和4年10月22日（土）～12月11日（日）

開場日数／42日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約100点

料 金／無料

観覧者数／6,219人



趣 旨／島崎藤村生誕150年を迎えるにあたって、郷土資料館が所蔵する島崎藤村関係の資料を展示し、島崎藤村と大磯町に居住した文人たちの交流を紹介する。島崎藤村をテーマとする企画展は、昭和63年に郷土資料館が開館した際に実施した特別展以来、34年ぶりとなる。

その間に収集、整理した資料を公開し、郷土資料館が所蔵する貴重な資料を広く活用することも目的とする。

内 容／郷土資料館が所蔵する島崎藤村関係資料や寄託資料の菊池重三郎関係資料を中心に、島崎藤村の大磯での暮らしや、他の文人たちの交流を紹介する。

(1) 島崎藤村

壁面2に年譜を掲示することによって、島崎藤村の業績を紹介する。また、展示ケースBに藤村の作品として、資料館が所蔵する「千曲川旅情のうた」の書などを展示する。

(2) 大磯での暮らし

展示ケースB及び昇降台にて、昭和16年に大磯に借家して以降2年余りの生活を紹介します。当時の町屋園の写真や愛用品を展示し、大磯の住まいで執筆にとりかかり、絶筆となった『東方の門』を解説する。

(3) 菊池重三郎との交流

大磯に暮らしていた作家の菊池重三郎は、天明愛吉と共に藤村に大磯を紹介し、藤村が大磯に住まいを移してから、最も交流を持っていた。菊池と天明が藤村に大磯を紹介したエピソードや、菊池と藤村の故郷である馬籠とのつながり、馬籠における藤村記念事業について、資料館において寄託資料としてお預かりしている菊池重三郎関係資料を展示ケースAに展示することによって紹介する。

(4) 文人たちの交流

関東大震災後の大磯には、多くの文化人が別荘を構えるようになり、島崎藤村や菊池重三郎が大磯に暮らし始めた頃は、様々な文化人が集っていた。有島生馬、坂西志保、矢代幸雄、獅子文六と菊池重三郎の交流を、菊池重三郎関係資料にある書簡などから紹介する。

(5) 濱谷浩と島崎藤村

大磯で暮らし始めた写真家の濱谷浩は、島崎藤村の詩に基づいて撮影した馬籠の風景などの作品を遺している。濱谷浩の業績を紹介し、藤村に関わる作品を壁面1に展示する。展示にあたっては、濱谷浩写真資料館に御協力いただく。

〔関連企画〕

展示解説

日 時／令和4年10月30日(日)、11月13日(日)・27日(日) 14時00分～14時30分

場 所／郷土資料館 研修室

参加人数／1回目：14人、2回目：5人、3回目：11人

内 容／担当学芸員が展示内容を紹介します。

講演会「島崎藤村とモダン大磯町の1940年代」

日 時／令和4年11月12日(土) 14時00分～16時00分

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／国士舘大学教授 目野 由希 氏

参加人数／22人

内 容／企画展に関連して島崎藤村と大磯をテーマとした講演会を実施する。

濱谷浩写真展「大磯を愛した文化人」

期 間／令和4年11月19日(土)～12月11日(日)

場 所／図書館 展示コーナー

共 催／濱谷浩写真資料館

内 容／濱谷浩が撮影した大磯に居を構えるなど、ゆかりを持った文化人の肖像写真を展示する。

(担 当) 富田・伊藤・北水

冬季企画展「レオナルド・ダ・ヴィンチの手稿

～自然科学を記録する～

期 間／令和5年1月21日(土)～2月19日(日)

開場日数／25日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約1,600点

料 金／無料

観覧者数／2,552人



趣 旨／イタリアの画家レオナルド・ダ・ヴィンチは、ルネサンス期を代表する芸術家として知られ、代表作の「モナ・リザ」のような絵画のみならず、数学、解剖学、工学など、当時の様々な学問に業績を残したとされている。その業績を知ることができるものに、彼が残した膨大な手稿がある。本展では、岩波書店から出版されたレオナルド・ダ・ヴィンチの手稿の高精細複製物を活用し、自然事象の記録という観点からレオナルドの才能を紹介する。また、レオナルドが生きた同時代の日本、また、その後に生きた人々が、どのように自然事象を記録してきたのか、郷土資料館が所蔵する自然標本などを活用しながら、比較検証する。

内 容／岩波書店発行のレオナルド・ダ・ヴィンチの手稿の複製物及び郷土資料館が所蔵する標本等を展示する。

(1) レオナルド・ダ・ヴィンチの手稿

展示ケースA、Bにおいて、レオナルド・ダ・ヴィンチの手稿の内、ウィンザー手稿の『風景、植物および水の習作』『解剖手稿』の複製物を展示する。

(2) 古典籍にみる自然科学

壁面1にて、江戸時代以降に出版された『解体新書』『百鳥図』『訓蒙図彙』などの動植物の図譜を紹介する。紹介する古典籍は、主に国立国会図書館が所蔵するものを活用した。

(3) 神奈川県生物に関する報告書

壁面2及び昇降台にて、近年の神奈川県内の動植物調査に関する報告書を紹介し、報告書に掲載されている動植物の標本を展示した。昆虫標本については、町内在住の昆虫研究家である渡辺康生氏にご協力いただき、同氏が採集された昆虫標本を展示した。

〔関連企画〕

「空飛ぶアート」体験

内 容／(株)ワコムが開発した「ユニバースアート」の技術を活用し、来館者が液晶タブレットによって入力した文字やイラストを、スマートフォンのアプリで大磯町内の上空に映し出すデジタルアート体験を実施した。

協 力／(株)ワコム

ギャラリートーク

日 時／令和5年1月28日(土)16時00分～17時15分

場 所／郷土資料館 企画展示室ほか

参加人数／22人

内 容／担当学芸員が企画展示を解説し、「空飛ぶアート」を参加者全員で体験した。

(担 当) 北水・富田・村田・高山

ミニ企画展「資料と証言に見る大磯と戦争」

期 間／令和4年7月2日(土)～8月31日(水)

開場日数／51日間

会 場／郷土資料館 廻廊

出品点数／約20点

料 金／無料

観覧者数／2,379人

趣 旨／一昨年の終戦75年を契機として、日本の近代史における戦争が大磯に与えた影響を考察し、郷土資料館が所蔵する戦争関係資料と共に公表する展示会を企画した。本テーマは、大磯の地域史上、重要なテーマであり、郷土資料館にて定期的に情報を発信するため、展示会にて考察した内容をまとめたポスターを作成した。本展では、このポスターを初めて展示し、戦争中の大磯の様子を、特に町民に対して伝える機会として実施する。

内 容／「資料と証言に見る大磯と戦争」展ポスターの掲示と、実物資料の展示。実物資料は、空襲関係の資料として、焼夷弾、アルミ箔ロープ、消火弾、戦時中の衣類として、テツカブト、国民服、ゲートル、戦時中の品物として、陶製のガスコンロと鏡餅、防火用石灰を収納するために使われた木箱を展示した。

(担 当) 富田

ミニ企画展「あの時、カーニバルがあった～大磯カーニバル全史～」

期 間／令和4年9月2日（金）～令和5年1月31日（火）

開場日数／121日間

会 場／郷土資料館 廻廊

出品点数／約8点

料 金／無料

観覧者数／11,372人

趣 旨／大磯では、昭和29年から昭和35年まで、大磯カーニバルという行事が開催されていた。この行事は、海水浴の期間中に、より多くの人が大磯に集まることを目的として始められた行事で、大磯に居住した安田鞞彦などの著名人が審査した仮装コンクールなど、大きくにぎわったことが知られている。行事を撮影した写真などをポスターで紹介し、全7回の大磯カーニバルの全容に迫る。

内 容／大磯カーニバルの様子や内容を紹介するポスターを作成し、展示する。また、昭和31年に実施された第3回の映像を放映する。

（担 当）富田

ミニ企画展「大磯で見られる砂浜の植物」

期 間／令和5年2月2日（木）～4月30日（日）

開場日数／74日間

会 場／郷土資料館 廻廊

出品点数／約9点

料 金／無料

観覧者数／5,807人

趣 旨／大磯町の海岸には、海岸でしか見ることができない植物が生育している。海岸の環境は、直射日光が降り注ぎ、潮風の影響、また風によって砂が移動するなど、生き物にとっては過酷な環境である。そのような環境で、たくましく育つ植物を紹介する。

内 容／大磯で見ることのできる砂浜の植物の紹介、過酷な環境下で生きる砂浜の植物の特徴、こゆるぎの浜と北浜海岸での植物相の違いなどのポスターを作成し、展示した。また、期間中に海岸の植物を観察し、その時に見られる植物の様子を写真で紹介した。

（担 当）村田

大磯自然発見コーナー

趣 旨／大磯町内で採集できる自然資料などを館内に展示し、自然観察の参考となる情報を提供する。自然環境に関心を高めるきっかけづくりにつなげる。

〔第1回〕「大磯の海藻おしば標本」

期 間／令和4年4月20日（水）～8月31日（水）

出品点数／約23点

内 容／海の中の植物が地球温暖化のために重要な働きをしていること、また、海の役割・自然のつながりについて伝え、海藻おしば標本を展示する。

〔第2回〕「貝の不思議」

期 間／令和4年9月10日（土）～12月28日（水）

出品点数／約10点

内 容／貝とはどんな生き物か、その成長過程や体のつくりを知ることにより身近な自然に目を向けるようになることを目的として、大磯でよく見られるフジツボ、コウイカの甲などを展示する。

〔第3回〕「砂浜のいろいろ」

期 間／令和5年1月5日（木）～4月25日（火）

出品点数／約10点

内 容／砂浜の環境改善の啓発を目的として、採集した砂浜の砂や砂浜に生息する生き物を、クイズを交えて展示紹介する。

（担 当）高山・村田

■ 学級・講座

<古文書裏打ちクラブ>

期 間／令和4年4月16日(土)、5月21日(土)、6月16日(土)、7月16日(土)、8月20日(土)、
9月17日(土)、10月22日(土)、11月19日(土)、12月17日(土)、令和5年1月21
日(土)、2月18日(土)、3月18日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

会 員 数／11人

参加人数／109人

活動内容／裏打ちの技術を学びながら、当館で所蔵している古文書の裏打ちを行うワークショップ。
博物館資料の整理というボランティア的な性格を持つ活動として位置付け、平成16年度
から継続している。活動内容は、昨年度に引き続き、襖に下張りされていた古文書の資料
化を進める。なお、会員は、随時募集し、本年度は1名が入会し、3名が退会した。

(担 当) 富田

<古文書解読クラブ>

期 日／令和4年4月2日(土)、5月7日(土)、6月4日(土)、7月2日(土)、8月6日(土)、
9月3日(土)、10月8日(土)、11月5日(土)、12月3日(土)、令和5年1月7日(土)、
2月4日(土)、3月4日(土)

場 所／郷土資料館 研修室

会 員 数／13人

参加人数／93人

活動内容／郷土資料館が所蔵する古文書を会員と共に解読することにより、大磯の歴史を学び、古文
書資料の活用を図ることを目的として、平成24年度から毎月第一土曜日を原則として活
動を始めた。町指定文化財である大磯宿小島本陣資料の休泊帳を解読し、翻訳文を刊行す
ることを目指している。また、引き続き、会員有志で毎週金曜日の活動を行い、大正期の
大磯町の助役日誌を解読している。なお、本年度は会員を3名募集し、2名が入会した。
成果として、資料館資料21「大磯町助役日誌」大正7年分(小見滋夫家旧蔵資料3)の翻
刻文を刊行した。

(担 当) 富田

<写真整理クラブ>

期 日／令和4年4月10日(日)・24日(日)、5月15日(日)・29日(日)、6月12日(日)・26
日(日)、7月10日(日)・24日(日)、8月14日(日)・28日(日)、9月11日(日)・25日(日)、
10月16日(日)・30日(日)、11月13日(日)・27日(日)、12月11日(日)・25日(日)、
令和5年1月29日(日)、2月12日(日)・26日(日)、3月12日(日)・26日(日)

場 所／郷土資料館 研修室

会 員 数／4人

参加人数／82人

活動内容／郷土資料館が所蔵する写真を会員と共に整理し、資料の活用を図ることを目的として、平
成28年度から毎月第二、第四日曜日を原則として活動を始めた。今年度も引き続き、町
広報担当者が撮影した写真のフィルムをスキャンし、デジタル化する。また、必要に応じ
てフィルムの清掃を行う。ネガフィルムのアルバム全28冊の内、16冊目(資料番号N16)
まで、フィルムをデジタル化した。

(担 当) 富田

<みんなで四季の生き物を調べよう>

期 日／令和4年4月23日(土)、7月9日(土)、令和5年2月25日(土)

※10月29日(土)は会員の都合により中止した。

場 所／西小磯、国府本郷の田んぼ周辺や山道

会 員 数／6人

参加人数／24人

活動内容／年4回、西小磯の田んぼ周辺や山道を歩き、春夏秋冬で動植物がどのように変化するのか観察をする。また、そこで見つけた発見を参加者同士で共有する。

(担当) 村田

<海の教室>

特定の学問分野にかかわらず「海」をテーマに様々なことを体験し、楽しみながら海岸環境や海産生物についての知識を深めることを目的に平成12年度から実施している。

「海の漂着物で君だけの作品を作ろう」

期 日／令和4年6月25日(土)、7月28日(木)

場 所／北浜海岸、郷土資料館 研修室

参加人数／12人(6月25日6人、7月28日6人)

内 容／漂着物には自然のもの、人工のもの、海のもの、陸のものなどがある。海岸を歩き、漂着物を拾うことにより、海の中には陸からでは見ることが出来ない生き物やその他、人の関わった様々なものが流れ着くことを知ることが出来る。それらの漂着物を使って作品を作ることによって身近な海の環境に目を向けるきっかけとする。

「楽しい海藻おしばづくり」

期 日／令和4年7月27日(水)

場 所／郷土資料館 研修室

参加人数／14人(午前7人、午後7人)

内 容／現在全国的に磯焼けなど藻場が減少している。海の中の森の存在、働き、重要性、ブルーカーボンの話によって海の環境保全の大切さを解説し、照ヶ崎海岸をはじめ神奈川県で拾った海藻を使った海藻おしばづくりを行った。

「海の森の万華鏡づくり」

期 日／令和4年8月23日(火)

場 所／郷土資料館 研修室

参加人数／24人(午前12人、午後12人)

内 容／海環境について各地で問題とされている今、海の生物クイズ、不思議な生物についての講話をし、さらには危険生物への注意喚起までつなげた。また、漂着海藻チップを使って万華鏡づくりを行った。

(担当) 高山・村田

■ 明治150年記念冊子作成委託

業務内容／明治150年記念事業を契機に、子どもたちの心に残り、いつまでも郷土を愛する心を持ち続けることのできる本を作成する。

契約期間／令和3年10月28日～令和4年12月23日

請 負 者／(株)かまくら春秋社

■ 博物館実習

令和4年度は3大学より3名の学生を受け入れた。実習期間は8月2日から6日及び7月21日(事前ガイダンス)、8月25日(課題等提出)の計7日間とした。

実習課程は、資料の整理などの実践的な作業、展示作成、学級活動の体験とした。展示作業では、常設展示室の「東海道大磯宿」コーナーにおいて、小島本陣資料の展示替えなどを行った。

<実習生>

山本 紗恵子(東海大学)、西村 葵(青山学院大学)、伊藤 昌秀(日本大学)

<課程>

月 日	曜日	午 前	午 後
7月21日	木		ガイダンス／館内見学
8月2日	火	講義（博物館活動の概要）	特殊資料の取り扱い
8月3日	水	資料梱包／旧吉田茂邸の見学・活動説明	
8月4日	木	常設展示室展示替え（考古資料の展示）	常設展示室展示替え（歴史資料の展示）
8月5日	金	自然資料の整理	歴史資料の整理
8月6日	土	常設展示室展示替え／学級活動の運営（古文書解読クラブの参加）	
8月25日	木	課題提出	

（担 当）富田・村田・國見・北水

■ 博物館資料の整備

<資料整備委託>

映像フィルムデジタル化委託1

業務内容／8ミリフィルム「大磯カーニバル」のデジタル化

契約期間／令和4年5月13日～7月29日

請 負 者／アスプレス株式会社

映像フィルムデジタル化委託2

業務内容／8ミリフィルム「大磯歳時記」のデジタル化

契約期間／令和4年9月22日～10月26日

請 負 者／アスプレス株式会社

<歴史資料の整理>

平成30年度から、歴史資料を段階的に整理することとし、整理作業を進めている。本年度は、次のとおり整理を進めた。

文献資料（古文書等）

- ・適宜、文献資料として整理した資料の目録を追加した。

受入番号	資料群名	点数	受入番号	資料群名	点数
1985-0401 他	渡辺美代家旧蔵資料	22	2012-0808	飯田善雄家旧蔵資料	1
1988-0801	五島八左衛門家旧蔵資料	103	2012-0809	森田康夫家旧蔵資料	1
1988-0806 他	吉田茂治家旧蔵資料	12	2012-0810	浅野総一郎関係資料	1
1992-1107	関東大震災の談話集	1	2012-1002	NHK 歌謡ホール第17回演歌のすべて	1
1995-1003 他	西海誠家旧蔵資料	91	2013-0801	町村合併記録	1
2002-1206	木村純子家旧蔵資料	2	2014-0301	写真アルバム「台風による大磯海岸の記録」	1
2006-1205 他	西海栄喜繁家旧蔵資料	33	2014-0423	神奈川新報 第594号	1
2012-0601	大磯駅戦災記録簿	1	2014-1003	株券	5

コレクション資料

- ・吉田茂関係資料を新たに1点受け入れ、所蔵点数が4,641点になった。
- ・吉田茂関係資料の内、吉田家旧蔵資料（受入番号2017-0309）の書簡資料6点の翻刻作業を進めた。
- ・伊藤博文関係資料を新たに75点受け入れ、所蔵点数が144点になった。
- ・松本順関係資料を新たに1点受け入れ、所蔵点数が324点になった。
- ・城山荘関係資料を新たに33点受け入れ、所蔵点数が239点になった。
- ・島崎藤村関係資料を新たに53点受け入れ、所蔵点数が186点になった。
- ・鳴立庵関係資料を新たに6点受け入れ、所蔵点数が1,760点になった。

- ・安田鞞彦関係資料を新たに1点購入し、所蔵点数が13点になった。
- ・鈴木久五郎関係資料を整理した。総点数731点。

美術品

- ・その他貴重資料を新たに12点受け入れ、所蔵点数が24点になった。

絵葉書

- ・新たに4点購入、14点受け入れ、所蔵点数が942点になった。

写真

- ・ホームページの収蔵資料データベースに、大磯町広報担当撮影写真の画像を19シリーズ公開した。公開した画像の件数は、計37シリーズ。

(担当) 富田・鷹野・飯野・中原・伊藤・加藤

■ 刊行物

<図録・冊子>

- | | | |
|-------------------------------|---------|-----------------|
| ・『年報—令和3年度—』 | A4判 40頁 | 400部 (令和4年8月刊) |
| ・企画展図録『島崎藤村と大磯を愛した文人たち』 | A4判 40頁 | 800部 (令和4年10月刊) |
| ・資料館資料21『大磯町助役日誌(大正七年一月～一二月)』 | A4判 96頁 | 500部 (令和5年2月刊) |
| ・『Report—大磯町郷土資料館だより』43 | A4判 8頁 | 800部 (令和5年3月刊) |

<チラシ・パンフレット>

- | | | |
|----------------------------|-------|-------------------|
| ・春季企画展『めぐってみよう！大磯宿』チラシ | A4判両面 | 10,000部 (令和4年4月刊) |
| ・春季企画展『めぐってみよう！大磯宿』解説資料 | A4判4頁 | 500部 (令和4年4月刊) |
| ・秋季企画展『島崎藤村と大磯を愛した文人たち』チラシ | A4判両面 | 10,000部 (令和4年9月刊) |

■ 視察・見学対応

<視察・見学の月別件数> 単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
視 察	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
見 学	0	1	2	0	0	0	1	2	0	1	0	0	7

<視察対応> 館職員が対応した団体のみ記載

- ・群馬県川場村村長ほか／4月9日／20人(北水)
- ・和歌山市ほか／9月25日／3人(仲手川・富田)

<見学対応> 館職員が対応した団体のみ記載

- ・県立神奈川近代文学館／5月31日、6月7日・10日／計53人(鷹野)
- ・相川考古館史跡会／10月30日／13人(國見)
- ・湘南桜友会／11月8日／20人(富田)

■ 取材対応

<刊行物>

- ・タウンニュース 令和4年4月22日掲載「石井本陣の間取り図初公開」(富田)
- ・神奈川新聞 令和4年5月27日掲載「春季企画展『めぐってみよう！大磯宿』」(富田)
- ・産経新聞 令和4年5月27日掲載「春季企画展『めぐってみよう！大磯宿』」(富田)
- ・読売新聞 令和4年9月上旬頃掲載「大磯・二宮の落花生に関する紹介」(富田)
- ・月刊誌『建築知識』 令和5年2月号掲載「旧島崎藤村邸の紹介」(富田)
- ・『週刊朝日』・『AERA』 令和4年11月号掲載「秋季企画展の紹介」(富田)
- ・神奈川新聞 令和4年10月21日頃掲載「秋季企画展の紹介」(富田)
- ・産経新聞 令和4年11月25日掲載「秋季企画展の紹介」(富田)
- ・タウンニュース 令和4年11月25日掲載「神明神社に新鳥居」(富田)
- ・読売新聞 令和4年12月9日対応「町内の東海道松並木について」(村田)

- ・タウンニュース 令和4年12月9日掲載「大磯での島崎藤村」(富田)
- ・東京新聞 令和4年12月10日掲載「秋季企画展の紹介」(中原)
- ・神奈川新聞 令和5年1月6日対応「湘南発祥の地について」(富田)
- ・朝日新聞 令和5年2月27日掲載「まちの記憶 旧大磯宿かいわい」(富田)
- ・タウンニュース 令和5年3月10日掲載「大磯と徳川家康に関するエピソード」(富田)

<テレビ>

- ・ケーブルテレビ『ワイド情報カフェ湘南館 (令和4年4月26日初回放送)』「春季企画展『めぐってみよう！大磯宿』の紹介」(富田)
- ・ケーブルテレビ『ワイド情報カフェ湘南館 (令和4年8月2日初回放送)』「『楽しい海藻おしばつくり』及びミニ企画展『資料と証言に見る大磯と戦争』の紹介」(富田)
- ・ケーブルテレビ『ワイド情報カフェ湘南館 (令和4年11月15日初回放送)』「秋季企画展『島崎藤村と大磯を愛した文人たち』の紹介」(富田)
- ・ケーブルテレビ『ワイド情報カフェ湘南館 (令和5年1月31日初回放送)』「冬季企画展ギャラリートークの紹介」(北水)

<ウェブサイト>

- ・地域情報サイト「えのぼ」 令和4年4月23日「春季企画展『めぐってみよう！大磯宿』」(富田)

■ レファレンス対応

- ・令和4年4月10日／寅年相模薬師如来5番の開帳について／個人 (富田)
- ・令和4年4月28日／大磯に茶屋が多くあった事について／個人 (富田)
- ・令和4年6月1日／図書館前の神像の石造物について／個人 (富田)
- ・令和4年6月9日／小野懐之碑文の拓本と石碑の所在について／立命館資料センター (富田)
- ・令和4年6月11日～12日／虎御前の恋人は五郎か十郎かについて／個人 (富田)
- ・令和4年6月26日／石神台地区50年記念のため過去の関係資料はないか／石神台自治会 (富田)
- ・令和4年7月7日／町内の横穴墓について／個人 (國見)
- ・令和4年7月20日／山縣有朋の妻の写真について／個人 (鷹野)
- ・令和4年7月7日～8月10日／池田家本邸の画像の所在確認／個人 (富田)
- ・令和4年8月5日／大磯の別荘の歴史について／森村学園中等部生徒 (鷹野)
- ・令和4年8月7日～9日／谷戸観音について／個人 (富田)
- ・令和4年8月9日／大磯駅の貴賓室がいつ頃から存在したか／小学館 (富田)
- ・令和4年8月17日／原田熊雄別邸のその後の様子について／個人 (富田)
- ・令和4年8月9日～28日／鳴立庵の板額の内容について (富田)
- ・令和4年8月31日～9月1日／新島襄終焉の地の資料について／個人 (富田)
- ・令和4年9月23日～25日／鳴立庵の比翼塚について／個人 (富田)
- ・令和4年10月3日／大磯女子敬業学舎について／個人 (鷹野)
- ・令和4年10月12日／鳴立庵13世庵主間宮宇山の兄について／個人 (富田)
- ・令和4年11月17日／島崎藤村が使用していた机の材質などについて／個人 (富田)
- ・令和4年11月20日／城山荘欄間の部材について／個人 (國見・中原・本田)
- ・令和4年11月22日／鳴立庵の芭蕉句碑の読み方について／個人 (富田)
- ・令和4年11月24日／町内の商店について／個人 (仲手川・鷹野)
- ・令和4年12月21日～23日／島崎藤村と敏樹の関係について／個人 (富田)
- ・令和4年12月27日／浮世絵の東海道五十三次「平塚」について／個人 (富田)
- ・令和4年12月27日／村井弦斎と大磯について／個人 (富田)
- ・令和5年1月11日／大縄釣りに関して／(株)ビスポ (鷹野・石井)
- ・令和5年1月22日／西小磯の渡辺牧場の位置について／個人 (鷹野)
- ・令和5年1月25日／百済人と大磯について／個人 (鷹野)
- ・令和5年1月28日～31日／町内の道と鳴立川及び周辺的环境について／個人 (富田)
- ・令和5年1月31日／菊池重三郎関係者とのインタビュー対応／個人 (富田)
- ・令和5年2月7日／大隈重信と陸奥宗光の友好関係と別荘建設の経緯について／個人 (鷹野)
- ・令和5年2月8日／王子製紙取締役・鈴木梅四郎関係資料について／個人 (富田)
- ・令和5年2月10日／高麗二丁目茅葺屋根建物床の間の扁額について／個人 (鷹野)

- ・令和5年2月11日／石神台遺跡、横穴墓について／個人（國見）
- ・令和5年2月11日／『未来へつなぐ想い わたしたちの大磯の歴史』題字について／個人（鷹野）
- ・令和5年2月20日／電電公社寮（昭和30年代頃）所在地について／個人（鷹野）
- ・令和5年3月9日／高麗神社神像、横穴墓、常設展示資料について／個人（國見）

■ ホームページを活用した情報発信

<ホームページの更新>

- ・休館情報や求人情報などを公開した。
- ・収蔵資料データベースで公開する資料を追加した。
- ・「100年前の大磯～小見助役の一日～」を更新した。

<ブログの更新>

- ・年間を通して、郷土資料館は18回、旧吉田茂邸は3回更新した。

<SNSの利用>

- ・Twitterは、年間を通して111回投稿し、1,132件の反応があった。フォロワー数は1,311件。
- ・Facebookは、年間を通して110回投稿し、530件の反応があった。フォロワー数は321件。
- ・Instagramは、年間を通して65回投稿し、1,796件の反応があった。フォロワー数は216件。

※フォロワー数は、令和5年5月12日確認。

■ 博物館資料の収集、整備、利用

<寄贈資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	寄贈者
2022-0501	R4. 5. 21	山神輿装束一式	一式	古瀬恭良
2022-0601	R4. 6. 3	会席膳・角盆 ほか	7	小林佳代子
2022-0602	R4. 6. 7	書籍『哈爾浜分廠誌』	10	加藤善康
2022-0604	R4. 6. 19	巻物『甲子兵燹図』上下	2	簗島雄治
2022-0605	R4. 6. 28	書幅「独身成千古」	1	高橋伸幸
2022-0605	R4. 6. 28	書籍『濱谷浩写真集成』	一式	高橋伸幸
2022-0701	R4. 7. 6	城山荘関係資料	12	金子暁男
2022-0801	R4. 8. 31	徽章	4	加藤千恵子
2022-0901	R4. 9. 14	写真	一括	飯田福信
2022-1001	R4. 10. 5	写真	一括	肥沼恵一
2022-1002	R4. 10. 7	吉田茂の関連雑誌	2	望月芳
2022-1102	R4. 11. 16	学校教材、婚礼装束小物 ほか	一括	瀬川啓子
2022-1203	R4. 12. 25	滄浪閣平面図	2	石井道朗
2023-0103	R5. 1. 6	絵葉書	一括	高木知己
2023-0201	R5. 2. 9	書籍『高元』	一式	桜井申一
2023-0201	R5. 2. 9	城山荘関係資料	21	桜井申一
2023-0301	R5. 3. 29	色紙	6	鈴木眞一郎

<移管資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	移管元
2023-0101	R5. 1. 4	イタゴ、伊藤博文の花瓶 ほか	一括	大磯小学校

<購入資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	購入先
2022-0603	R4. 6. 17	古典籍『諸国道中袖鏡』	1	福地書店
2022-1101	R4. 11. 4	震災地応急測図原図（複製）	3	（一財）日本地図センター
2022-1201	R4. 12. 11	絵葉書	4	鶴庵

No.	受入年月日	資料名	数量	購入先
2022-1202	R4. 12. 11	加藤高明書	2	福地書店
2023-0102	R5. 1. 5	安田鞞彦短冊	1	福地書店

<寄託資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	寄託者
2	S63.6.1	山高帽	一括	西小磯東区長
5	S63.9.2	四季耕作図 他	11	個人
16	H1.12.9	子ども会旗・七夕資料	一括	西小磯西子ども会
17	H1.8.8	菊池重三郎関係資料	1,510	個人
22	H4.4.1	稻荷講資料	一括	個人
23	H4.4.1	雛人形	一括	個人
28	H5.7.22	吉田茂杯 他	5	大磯中学校
30	H6.4.12	掛軸 他	一括	西小磯東区長・西小磯西区長
32	H7.9.12	獅子頭	2 (1 対)	裡道区長
35	H13.7.17	屏風 他	一括	南本町区長
37	H15.4.1	木造神像群	12	高来神社
39	H21.4.17	扁額 他	1	国府中学校
40	H21.12.24	伊藤博文書幅	1	個人
41	H22.2.1	大久保家資料	一括	個人
43	H23.6.29	掛軸	1	個人
44	H26.8.12	脇差	1	個人
45	H27.3.6	鈴木芳如関係資料	156	個人
46	H27.4.16	画幅「七福神」 他	2	個人
48	H27.8.4	わきざし 他	8	個人
49	H27.8.4	わきざし	1	個人
50	H28.6.29	袖がらみ 他	2	個人
51	H28.4.5	杉戸絵 他	10	国土交通省関東地方整備局 国営昭和記念公園事務所
52	H28.10.13	国府祭 鷺舞資料	一式	六所神社
53	H29.7.13	城山荘関係資料	57	個人
54	H29.10.26	招仙閣関係資料	26	東光院
55	H29.1.5	日本国憲法草案	2	個人
56	H30.9.9	生沢二宮家資料	一括	個人
57	R2. 1. 7	安田鞞彦宛吉田茂書簡	一括	個人
58	R2. 3. 31	七賢堂関連資料	17	平塚土木事務所
59	R3. 9. 30	中島湘煙書簡	1	個人

※寄託期間は最長2年とし、2年以降は更新を行う。現在の寄託期間は、令和6年3月31日まで。

<資料の館外貸出>

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
8ミリフィルム「大磯カーニバル」	1	映像フィルムデジタル化委託	R4. 5. 17 ～R4. 7. 29	アスプレス (株)
随神 ほか	4	祭事	R4. 7. 15 ～R4. 7. 20	南本町地区
獅子頭	2	祭事	R4. 7. 16 ～R4. 7. 17	裡道地区

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
高来神社男神立像 (その1)、女神立像 (その3)、僧形立像 (その5)	3	企画展示	R4. 8. 15 ～R4. 11. 18	鎌倉市教育委員会
出征兵士を送る旗 ほか	10	パネル展示	R4. 8. 19 ～R4. 8. 30	伊勢原市
8ミリフィルム「大磯 歳時記」	1	映像フィルムデジタル化委 託	R4. 9. 22 ～R4. 10. 26	アスプレス (株)
トーチホルダ	1	大磯チャレンジフェスタ	R4. 10. 1 ～R4. 10. 2	大磯町
堂後下横穴墓群1号 墓刀子No20 ほか	3	資料保存処理委託及び資料 確認	R4. 10. 18 ～R5. 3. 10	東都文化財保存研究所
馬場台34地点 土師 器・須恵器 ほか	13	馬場地区文化祭	R4. 10. 21 ～R4. 10. 23	馬場地区
打製石斧・弓矢	4	二宮町生涯学習講座	R4. 11. 24 ～R4. 11. 27	個人
ユタンポ ほか	14	国府小学校3年生社会科「か わる道具とくらし」	R5. 1. 24 ～R5. 2. 15	国府小学校
馬場台68地点試掘調 査遺物	一式	資料接合処理及び資料確認	R5. 3. 23 ～R8. 1. 31	(有)相模考古学研 究所

<資料の特別利用>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
研究・学術	1	10	0	0	1	1	
刊行物掲載	2	1	2	5	3	1	
放映・動画配信	0	0	0	3	0	0	
ウェブ掲載	0	0	0	0	0	2	
展示	0	1	1	0	0	0	
展示資料の撮影	5	4	1	5	4	4	
その他	0	0	1	0	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
研究・学術	0	2	1	3	2	2	23
刊行物掲載	1	2	0	0	1	1	19
放映・動画配信	1	0	0	1	0	1	6
ウェブ掲載	0	0	0	0	0	1	3
展示	0	1	0	0	0	0	3
展示資料の撮影	16	14	8	0	2	3	66
その他	1	0	1	0	0	0	3

■ 文献資料収集状況

<寄贈機関・関係団体一覧>

《県内》

[大磯町]

エリザベス・サンダース・ホーム、NPO 法人大磯ガイド協会、大磯小学校 PTA、大磯町教育委員会、大磯町青少年指導員連絡協議会

[茅ヶ崎市]

茅ヶ崎市教育委員会、茅ヶ崎市文化振興財団、茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団

[秦野市]

野生動物救護の会、秦野市教育委員会

- [藤沢市] 神奈川県立総合教育センター、湘南考古学同好会、日本大学生物資源科学部博物館、藤沢市教育委員会、藤沢市藤澤浮世絵館、藤沢市文書館
- [平塚市] 平岡学園平岡幼稚園、平塚市教育委員会、平塚空襲と戦災を記録する会、平塚市博物館
- [伊勢原市] 公益財団法人雨岳文庫
- [寒川町] 寒川町史編集委員会
- [小田原市] 小田原市、小田原市教育委員会、小田原市郷土文化館、小田原史談会、小田原市立中央図書館地域コーナー、小田原城天守閣、神奈川県立生命の星・地球博物館
- [箱根町] 箱根町立郷土資料館
- [山北町] 山北町地方史研究会
- [横浜市] 岩崎博物館、馬の博物館、NPO 法人神奈川県歩け歩け協会、神奈川県、神奈川県教育委員会、神奈川県教育委員会教育局生涯学習部文化遺産課中村町駐在事務所、神奈川県植物調査会、神奈川県町村会、神奈川県博物館協会、神奈川県文化財課、神奈川県民俗芸能保存協会、神奈川県立神奈川近代文学館、神奈川県立公文書館、神奈川県立図書館、神奈川県立歴史博物館、かながわ考古学財団、神奈川新聞社、神奈川文学振興会、シルク博物館、JICA 横浜海外移住資料館、玉川文化財研究所、鶴見大学博物館学芸員課程、馬事文化財団、睦合文化財株式会社、横浜植物会、横浜市歴史博物館、横浜都市発展記念館
- [川崎市] 川崎市教育委員会、川崎市市民ミュージアム、川崎市立日本民家園
- [鎌倉市] 鎌倉国宝館、鎌倉考古学研究所、鎌倉市教育委員会、鎌倉文化研究会、宗教法人浄智寺、鶴岡八幡宮社務所
- [横須賀市] 観音崎自然博物館、横須賀市教育委員会、横須賀市自然・人文博物館
- [葉山町] 葉山しおさい博物館
- [厚木市] 厚木市教育委員会
- [相模原市] 相模原市教育委員会
- [海老名市] おさだ進治事務所
- [逗子市] 逗子市教育委員会
- [大和市] 大和市教育委員会、大和市文化スポーツ部文化振興課
- [三浦市] 三浦市教育委員会
- [真鶴町] 真鶴町立中川一政美術館
- [清川村] 丹沢自然保護協会
- 《県外》
- [茨城県] 稲敷市立歴史民俗資料館、かすみがうら市歴史博物館、小美玉市玉里史料館、小美玉市文化スポーツ振興部生涯学習課
- [栃木県] 小山市立博物館、栃木県立博物館
- [埼玉県] 埼玉県立川の博物館、税務大学校租税史料室、富士見市立難波田城資料館、ふじみ野市教育委員会、立正大学博物館
- [千葉県] 伊能忠敬記念館、国立歴史民俗博物館、市立市川考古博物館、市立市川歴史博物館、袖ヶ浦市郷土博物館、千葉県立中央博物館、飛ノ台史跡公園博物館、船橋市教育委員会、船橋市郷土資料館、松戸市立博物館
- [東京都] ICOM-DRMC、昭島・歴史をよむ会、朝日新聞出版、吾妻考古学研究所、板橋区教育委員会、板橋区立郷土資料館、一般財団法人出版文化産業振興財団、岩波書店、エクスマレッジ、桜美林大学資格・教職センター博物館学芸員課程、お札と切手の博物館、株式会社RNA、株式会社シグレゴコチ、外務省外交史料館、学習院大学学芸員課程委員会、清瀬市郷土博物館、公益財団法人利用運輸振興会、国立ハンセン病資料館、国際文化財、四門、JCII フォトサロン、衆議院憲政記念館、昭和館、大成エンジニアリング、玉川大学教育博物館、調布市郷土博物館、東京家政学院生活文化博物館、東京書籍、東京都江戸東京博物館、豊島区立郷土資料館、豊島区立鈴木信太郎記念館、豊島区立雑司が谷旧宣教師館、日本芸術文化振興会、日本近代文学館、日本博物館協会、パスコ、日野市郷土資料館、日野市ふるさと文化財課、日野市立新選組のふるさと歴史館、PHP 研究所、福生古文書研究会、府中市郷土の森博物館、文化財活用センター、文化庁、文化庁文化財第二課、文京ふるさと歴史館、

堀文子記念館、堀文子ホルトノキの会、町田市立自由民権資料館、三井不動産レジデンシャル株式会社、港区教育委員会、港区立郷土歴史館、森ビル株式会社、明治大学学芸員養成課程、明治安田クオリティオブライフ文化財団事務局、靖国神社社務所

[静岡県]	伊豆の国市教育委員会、静岡県立美術館、沼津市歴史民俗資料館、浜松市博物館、三島市教育委員会、三島市郷土資料館、三島地域資料調査会
[愛知県]	安城市歴史博物館、豊橋市美術博物館
[山梨県]	環境省自然環境局生物多様性センター、南アルプス市教育委員会
[群馬県]	渋川市教育委員会
[長野県]	諏訪市博物館、茅野市神長官守矢史料館、茅野市八ヶ岳総合博物館
[新潟県]	十日町市博物館
[三重県]	鈴鹿市考古博物館
[和歌山県]	和歌山県立自然博物館、和歌山県立文書館
[滋賀県]	草津宿街道交流館
[大阪府]	大阪市立自然史博物館、富田林市教育委員会
[兵庫県]	人と防災未来センター、姫路科学館
[京都府]	スタジオ三十三、淡交社
[広島県]	株式会社熊平製作所
[高知県]	高知県牧野記念財団
[岩手県]	奥州市牛の博物館、北上市立博物館
[福島県]	白河市歴史民俗資料館、小峰城歴史館
[青森県]	青森県立郷土館
[北海道]	帯広百年記念館、沙流川歴史館、美幌博物館
[佐賀県]	有田町歴史民俗資料館
[宮崎県]	都城島津邸
[福岡県]	九州国立博物館
[大分県]	大分県立歴史博物館

旧吉田茂邸（郷土資料館別館）学芸活動

■ ミニ企画展

ミニパネル展「吉田茂と安田靫彦—大磯が結んだ二人の縁—」

期 間／令和4年4月2日(土)～9月30日(金)

開場日数／151日間

会 場／旧吉田茂邸 展示・休憩室

観覧者数／10,266人

趣 旨／大磯町に長く暮らした画家の安田靫彦と吉田茂に焦点をあて、二人の交流やエピソードを紹介し、あわせて関連する当館所蔵資料を展示する。

内 容／

(1) 大磯町初の名誉町民

安田靫彦と吉田茂は昭和40年(1965)に大磯町初の名誉町民に選ばれた。二人はともに大磯に長く暮らし、文化人、政治家としていずれも世に知られた人物だった。安田靫彦のプロフィールと、大磯でのエピソード、また吉田茂が安田靫彦に依頼した絵画(「富士秋霽」)を紹介する。

(2) 国立近代美術館の建設

国立近代美術館が北の丸に移転する際、安田靫彦から吉田茂に働きかけがあったエピソードを紹介する。



(3) チャーチルと富士の絵

吉田茂は、昭和 29 年（1954）首相として最後の外遊の際、イギリスでチャーチル首相と面会した。その際、チャーチルが日本の富士山が好きだという話を吉田が聞き、安田靫彦に富士の絵を依頼したというエピソードを紹介する。

〔関連行事〕

講演会「安田靫彦絵画の魅力と大磯」

日 時／令和 4 年 6 月 26 日（日）13 時 30 分～15 時 00 分

場 所／県立大磯城山公園 旧吉田茂邸地区 管理休憩棟

講 師／安田靫彦令孫 安田 由紀夫 氏・平塚市美術館学芸員 勝山 滋 氏

参加人数／30 人

内 容／長年大磯に居住した画家・安田靫彦について、大磯での暮らしぶりや絵画の魅力、さらに同じく大磯に居住した吉田茂との交流を、講師の両氏にトークセッション方式でお話しいただいた。

（担 当）久保庭・鷹野・北水

ミニパネル展「吉田茂と三人の父」

期 間／令和 4 年 10 月 2 日（日）～令和 5 年 3 月 31 日（金）

開場日数／145 日間

会 場／旧吉田茂邸 展示・休憩室

観覧者数／13,214 人

趣 旨／吉田茂の実父・竹内綱、養父・吉田健三、岳父・牧野伸顕の三人に焦点をあて、それぞれの人物像や交流、吉田茂に与えた影響などを紹介する。

内 容／

(1) 吉田茂の生い立ち

吉田茂の出生から吉田家の養子を経て、牧野雪子との結婚に至るまでを紹介する。

(2) 実父・竹内綱

竹内綱について、土佐藩家老・伊賀氏の重臣としてのエピソードや実業家・自由民権運動家としての面を取り上げ、その中で吉田茂との共通点や影響などを紹介する。

(3) 養父・吉田健三

吉田健三について、一般に知られる実業家としての面を取り上げるほか、吉田茂に影響を与えたであろう吉田健三の人物像やエピソードを紹介する。また、竹内綱との交流についても取り上げる。

(4) 岳父・牧野伸顕

ここでは吉田茂が牧野伸顕を頼った「獵官運動」や、二・二六事件でのエピソードなどを中心に紹介する。

〔関連行事〕

講演会「吉田健三が活躍した時代の横浜」

日 時／令和 5 年 3 月 26 日（日）13 時 30 分～15 時 00 分

場 所／郷土資料館 研修室

講 師／横浜開港資料館館長 西川 武臣 氏

参加人数／31 人

内 容／吉田茂の養父・吉田健三が貿易商として活躍した明治初期ごろの横浜の様子についてお話しいただいた。

（担 当）鷹野

■ 講演会

七賢堂特別開扉講演会「吉田茂の対中国政策—昭和初期奉天総領事・外務次官時代—」

日 時／令和 4 年 9 月 17 日（土）13 時 30 分～15 時 00 分

場 所／県立大磯城山公園 旧吉田茂邸地区 管理休憩棟



講師／元中央大学文学部教授 佐藤 元英 氏

参加人数／26 人

趣 旨／県立大磯城山公園が主催する七賢堂特別開扉にあわせて、七賢堂に関する講演会を実施し、吉田茂と旧吉田茂邸への関心を広める。

内 容／日本が「幣原外交」から「田中外交」へと転換した時期に奉天総領事を務めた吉田茂が、どのような対満蒙政策を実施したのか、当時の情勢を交えてお話しいただいた。

(担 当) 鷹野

旧吉田茂邸建築講演会・見学会「吉田五十八の近代数寄屋と吉田茂邸」

日 時／令和 4 年 11 月 23 日 (水・祝) 13 時 30 分～15 時 00 分

場 所／県立大磯城山公園 旧吉田茂邸地区 管理休憩棟

講 師／関東学院大学名誉教授 水沼 淑子 氏・NPO 法人大磯ガイド協会

参 加 費／660 円

参加人数／24 人

趣 旨／県立大磯城山公園及びNPO 法人大磯ガイド協会と連携し、旧吉田茂邸の建築について知見を深める。

内 容／講演では、吉田五十八の近代数寄屋建築について、その特徴や日本の建築史における位置づけについてお話しいただいた。その後の見学会では、吉田五十八の建築の特徴に注目して、旧吉田茂邸を見学した。

(担 当) 鷹野



■ 博物館資料の整備

<収蔵資料整備>

刀剣点検

業務内容／吉田家旧蔵資料のうち、刀剣「兼定」について点検を行った。

契約期間／令和 4 年 12 月 14 日

請 負 者／小野敬博

<館外資料調査>

国立国会図書館所蔵吉田茂関係資料の複写撮影

業務内容／国立国会図書館憲政資料室所蔵の安齋正助関係文書のうち、吉田茂宛書簡 53 通を複写した。

実 施 日／令和 4 年 12 月 2 日

■ 調度品等の整備

<調度品製作委託>

旧吉田茂邸調度品製作委託

業務内容／旧吉田茂邸の浴室調度品を製作し、新館 2 階の浴室に設置する。

契約期間／令和 4 年 9 月 21 日 ～令和 5 年 2 月 28 日

請 負 者／(株) 日展東京支店

■ 刊行物

<チラシ・パンフレット>

- ・講演会「吉田茂の対中国政策」チラシ
- ・旧吉田茂邸建築講演会・見学会チラシ
- ・講演会「吉田健三が活躍した時代の横浜」チラシ
- ・旧吉田茂邸案内チラシ
- ・旧吉田茂邸案内パンフレット

A4 判片面 500 部 (令和 4 年 9 月刊)

A4 判片面 1,200 部 (令和 4 年 10 月刊)

A4 判片面 900 部 (令和 5 年 2 月刊)

A4 判片面 5,000 部 (令和 5 年 3 月刊)

A4 判両面 三つ折 2,000 部 (令和 5 年 3 月刊)

■ 視察・見学対応

<視察・見学の月別件数> 単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
視 察	2	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	8
見 学	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3

<視察対応> 館職員が対応した団体のみ記載

- ・神奈川県県土整備局都市部都市公園課長・平塚土木事務所長・平塚土木事務所道路都市課長ほか（明治記念大磯邸園関係）／4月18日／10人（北水）
- ・国土交通省関東地方整備局長・国営昭和記念公園事務所長・建政部公園調整官ほか（明治記念大磯邸園関係）／4月18日／5人（北水）
- ・NEC、住友林業、エレコム会長他／5月28日／6人（北水）
- ・国土交通省都市整備局長ほか（明治記念大磯邸園関係）／8月18日（北水）

<見学対応> 館職員が対応した団体のみ記載

- ・外務省招へいプログラムにおける視察／3月12日／2人（鷹野）

■ 取材対応

<刊行物>

- ・共同通信社 令和4年9月14日取材「吉田茂の国葬について」（鷹野）
- ・タウンニュース 令和5年3月31日掲載「旧吉田邸新商品紹介」（鷹野）

<テレビ>

- ・大阪読売テレビ『ニュース番組（令和4年7月20日放送）』「吉田茂の国葬について」（鷹野）
- ・TBSテレビ『報道特集（令和4年9月10日放送）』「吉田茂の国葬について紹介」
- ・NHK『ニュース番組（令和4年9月27日放送）』「吉田茂の国葬について紹介」（仲手川）
- ・テレビ東京『よじごじDays（令和4年10月26日放送）』「旧吉田茂邸金の間について紹介」（仲手川・鷹野）
- ・BSフジ『小峠英二の試乗最高！（令和4年12月26日放送）』「旧吉田茂邸の紹介」（仲手川）

■ レファレンス対応

- ・令和4年4月16日／旧吉田茂邸の兜門について／個人（鷹野）
- ・令和4年8月13日／「吉田学校」について／毎日放送（鷹野）
- ・令和4年10月18日～25日／吉田茂の色紙について／個人（鷹野）

開館5周年記念事業

旧吉田茂邸は、令和4年度に開館5周年を迎えた。節目の年を迎え、開館5周年記念事業の冠を付した事業を実施する。

春のダイヤモンド富士見学会

日 時／令和4年4月10日（日）17時00分～18時15分

会 場／旧吉田茂邸

協 力／産業能率大学川野邊ゼミ

参加人数／25人（産業能率大学川野邊ゼミの学生10人を除く）

内 容／ダイヤモンド富士を旧吉田茂邸内の金の間・銀の間・ローズルームから見学した。また、産業能率大学との連携事業として、産業能率大学川野邊ゼミの学生がダイヤモンド富士や

旧吉田茂邸内の様子を撮影した。
(担 当) 久保庭・鷹野・北水

秋のダイヤモンド富士見学会 ※悪天候のため中止

日 時／令和4年9月2日(金) 17時00分～18時15分

会 場／旧吉田茂邸

内 容／ダイヤモンド富士を旧吉田茂邸内の金の間・銀の間・ローズルームから見学する予定であった。

(担 当) 鷹野・北水

関連グッズの販売

開館5周年を記念して、旧吉田茂邸で販売するグッズを新たに作成し、販売した。新たに作成したグッズはトートバッグとA5クリアファイルであり、トートバッグを9月17日(土)から、A5クリアファイルを10月22日(土)から、チャーム、根付けを3月11日(土)から、手拭いを3月21日(火)から販売した。令和5年3月31日までの販売実績は、トートバッグが82点、A5クリアファイルが46点、チャームが16点、根付けが5点、手拭いが10点であった。

学芸員の調査、研究、普及活動

<通年の活動>

- ・神奈川県博物館協会理事／年間(國見)
- ・東海地区博物館連絡協議会役員／年間(國見)
- ・アジア太平洋戦争期の相武地域史研究会／年間／東海大学(富田・鷹野)

<庁内事業への協力>

- ・新採用職員研修講義／令和4年4月13日(國見)
- ・鳴立庵展示ケースの展示／令和4年5月6日、7月27日、10月20日、令和5年2月10日(富田)
- ・生涯学習課青少年おもしろ講座旧吉田茂邸開館5周年記念「旧吉田茂邸体験講座」／令和4年7月31日～8月1日(國見・仲手川・鷹野)
- ・青少年指導員連絡協議会自主事業「ナイトハイク&ミュージアム」／令和4年8月6日(國見・村田)

<学校教育との連携>

郷土資料館の見学・学習指導

講義名	月日	場所	担当
大磯小学校1年生遠足	5月27日	県立大磯城山公園 (ふれあい広場)	—
大磯小学校3年生遠足	6月10日	県立大磯城山公園 (ふれあい広場)	村田
県立二宮高等学校教員社会体験研修	8月4日 ～5日	郷土資料館・旧吉田茂邸	富田・鷹野・村田
茅ヶ崎市立第一中学校教員社会体験研修	8月4日 ～5日	郷土資料館・旧吉田茂邸	富田・鷹野・村田
令和4年度大磯町新採用等教職員夏季研修会	8月16日・17日	郷土資料館・旧吉田茂邸	國見・北水
大磯中学校1年生総合学習	10月21日	郷土資料館・旧吉田茂邸	—

講義名	月日	場所	担当
苗もんもん保育園遠足	11月18日	県立大磯城山公園 (ふれあい広場)	—
国府小学校 5年生総合学習「大磯町の絶滅危惧種や生き物について」	2月2日	郷土資料館	北水・ 村田
たかとり幼稚園遠足	3月3日	県立大磯城山公園 (ふれあい広場)	—

学校等への講師派遣

講義名	月日	場所	担当
国府小学校 3年生総合学習「たくさん知りたい大磯町」	5月27日	国府小学校	富田・ 村田
国府小学校・中学校生沢分校「海の環境の学習」と「作品作り」	6月3日	国府小学校・中学校 生沢分校	村田・ 高山
小田原市立城南中学校「ビーチコーミング実習」	7月1日	小田原市立城南中学校	北水・ 村田
大磯小学校 3年生総合学習「海浜植物について」	12月2日	北浜海岸	村田
専修大学学芸員課程セミナー「博物館、学芸員のリアル」	12月17日	専修大学生田校舎	國見

<各種団体との連携・協力>

各種団体への講師派遣

講義名	月日	場所	担当
嶋立庵講座「歴代庵主と嶋立庵」	7月30日	嶋立庵	富田
大磯城山公園調査隊「あつまれ！アメリカザリガニ一斉捕獲大作戦」	8月17日	県立大磯城山公園 (不動池)	村田
町職員出前講座「大磯町の歴史等について」	8月20日	町立ふれあい会館 (北本町町内会)	富田
明治記念大磯邸園秋のイベント「大磯の歴史について」	9月17日	明治記念大磯邸園	北水
吉田茂のガーデンパーティー講話「写真でみる吉田茂邸の変遷」	10月1日	県立大磯城山公園 (旧吉田茂邸地区管理棟)	鷹野
中区小・中学校退職校長会研修会「大磯の歴史的文化的ゆかりの地を巡る」	11月1日	明治記念大磯邸園ほか	國見
令和4年度OISO学び塾「別荘地大磯の考古学～発掘調査等の成果と近代の遺物～」	1月28日	郷土資料館	國見
令和4年度OISO学び塾「文化財ウォーク・大磯の天然記念物その2」	3月11日	郷土資料館～旧吉田茂邸～国府新宿地区	北水

<学会・研究会との連携>

研修会・会議出席等

名称	月日	場所	担当
令和4年度神奈川県博物館協会第1回役員会・総会	5月11日	県立歴史博物館	國見
アジア太平洋戦争期の相武地域史研究会	6月29日	オンライン会議	富田・ 鷹野
令和4年度神奈川県博物館協会第2回役員会	11月2日	県立歴史博物館	國見
川崎市市民ミュージアムレスキュー活動	12月22日	川崎市市民ミュージアム	富田

<執筆>

國見 徹

2023. 3. 「常設展示室から～赤煉瓦資料の回顧～」
『Report－大磯町郷土資料館だより』43 大磯町郷土資料館

富田 三紗子

2022. 10. 『島崎藤村と大磯を愛した文人たち』 大磯町郷土資料館
2023. 2. 資料館資料21『大磯町助役日誌（大正七年一月～一二月）』 大磯町郷土資料館
2023. 3. 「【所蔵資料紹介】林董関係資料」
『Report－大磯町郷土資料館だより』43 大磯町郷土資料館
2023. 3. 「翻訳『紛争終結後国家のための法の支配ツール アーカイブズ（その1）』
『レコード・マネジメント』No.84 記録管理学会<共著>
2023. 3. 「公文書の保存期間基準表と評価選別基準－公文書の価値に関する一考察－」
『記録と史料』第33号 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

久保庭 萌

2023. 3. 「第314回定例研究会参加記『進化を続ける新潟のアーカイブズ』」
『全史料協関東部会会報 アーキビスト』No.99 全史料協関東部会
2023. 3. 「翻訳『紛争終結後国家のための法の支配ツール アーカイブズ（その1）』
『レコード・マネジメント』No.84 記録管理学会<共著>

鷹野 真子

2023. 3. 「旧吉田茂邸開館5周年」『Report－大磯町郷土資料館だより』43 大磯町郷土資料館
2023. 3. 「【コラム】吉田邸、謎の大釜」
『Report－大磯町郷土資料館だより』43 大磯町郷土資料館

伊藤 匠

2022. 8. 「大久保家資料『覚書』にみる小田原藩」『年報－令和3年度－』 大磯町郷土資料館
2023. 3. 「内務省復興局の研究－組織実態と疑獄事件－」『中央史学』第46号 中央史学会